

富士山吉田大沢 (6月14日) 大滑走

残雪の多さと、MLでの報告に誘われ滑り収めを延長し、新雪の吉田大沢を堪能できました。

【山城】富士山

【日時と天候】 2008年6月14日 晴れのち曇り 気温山頂で5℃前後 山頂で最大風速15m位

【メンバー】 CL菊池 (TM: 59才)、沢田 (アルペン: 63才)

【行程】 スバルライン五合目駐車場: 5:15-山頂11:40-白山岳方向へ約100m (鞍部) のドロップポイント12:15-吉田大沢滑走-2750m地点滑走終了-駐車場14:15



・下界では30度前後の高温であったが、12日に降雪があり、山頂から暫らくはやや重い新雪(10cm前後)滑走を楽しめた。

山頂の岩壁から3本の表層雪崩(前日のものか、幅は10mくらい)があり、最長3000mくらいまで達していた。

雪面は荒れておらず、素晴らしい滑走感であった。3000付近から雪渓が2本に分断された地点から暫らくは



小さな落石が散在しており、滑走面を痛めないようにゆっくりくだった。

・ドロップポイント: 登山道付近は岩・ガレ場が露出しており山頂からの滑走は不可能。白山岳方面へ約100m進んだ鞍部が恰好のポイント(1本のトレースあり)である。山頂に達する前から雲が湧いてきており、滑走直前にはホワイトアウトとなったが、痺れを

切らし滑走開始直後から神様のお恵みで、晴れ間が広がった。

- ・富士山おなじみの富士宮 K さんにお会いでき、いろいろ楽しいお話を伺えました。

我々を追って尻セードで下ってきた30代前半の二人は、なんと1合目（1500m）



から4時間45分で山頂に達したということである。神奈川県在住であり、ロック専門と話していた。

- ・吉田大沢の山スキーは3回目であるが、初めて山頂から滑走することができた。

滑落の危険性のない高温の日を選ぶことがポイントであり、残雪の多い年の、梅雨の晴れ間は正に旬と感じた。

- ・6月1日の富士宮では2日間の寝不足で山頂直前ではへろへろであったが、今回は体調良好、クエン酸入りスポーツドリンクをハイドレーションでしっかり補給し、行動食もしっかり摂ったためか比較的楽であった。

- ・今月一杯は楽しめそうです。